

# 下水道のしくみを学ぶ

和倉小学校4年生 社会の授業

七尾市西部水質管理センターを見学しました。



最終沈殿池の見学。あとは、水を消毒して放流するだけです。池には、コイが泳いでいるよ。



施設課の職員がクイズを出しながら、下水処理のしくみについて説明します。



「毎日どれくらい汚水が処理されているの?」など、いろいろな質問をします。

4年1組  
山本紗奈ちゃんの作文  
「下水道しよ理場の人へ」

きのうは、下水道の勉強で行ったときに林さんが、クイズを出してくれたり、分かりやすく説明してれてとてもよく分かりました。清田さんの説明もすごく分かりやすかったです。外に出て水を見たとき、きたない茶色い水だと思いました。

けれど、最後の最終沈殿池を見たら、とてもきれいな水になっていたのびっくりしました。

それにコイも泳いでいて本当にきれいな水なんだなあと思いました。

川や湖からくみ上げられた水は、わたしたちの生活で使われます。使われた水は、再び川や海に流れ込みます。海の水は、蒸発して雲を作り、雲は雨を降らせます。雨水は、川や湖に流れ込み、そこから、また水がくみ上げられます。

下水道は、この「水の循環」の中で、汚れた水をきれいにしてから川や海に戻すという大切な役割をもっています。わたしたちは、使った水が、やがて「水の循環」によってわたしたちのもとへ戻ってくることを考えながら水を使うことが大切です。

